

# どうぶつこうえんニュース

Chiba Zoological Park News

No. 18



# どうぶつと私…(13)

Animals and I

## ニホンザルと私

Japanese Macaque and I

浅倉 繁春

元上野動物園園長  
(財)東京動物園協会理事長



動物園のサルの話で恐縮ですが、随分古いことである。私は毎朝園内を巡回して、メスザルの性周期をしらべていた。ポケットに南瓜の種子をいれて、毎日サルに手渡して仲良しになっていった。そのなかに子供動物園のボールにつながれていたミーコと名づけた、毛並みのよいニホンザルのメスがいた。ニホンザルの交配期は冬である。12月中旬にミーコに近づくと彼女は大きな声をだして叫び、突然、私に抱きついてきた。餌も食べようとしない。離そうとすると体をふるわした。私は奇妙な感じにおそわれた。どうやら彼女は私に恋をしたらしい。やっと離して子供動物園を去る時、私の姿がみえなくなるまで声をだしていた。次の日も、その翌日もミーコは同じように振舞った。尻の赤味は濃くなっていたし、体の匂いも甘酸っぱい。しかし、性周期の半ばを境に、このような動作はヒタットやみ、種子も喜んで食べた。

メスの性周期は卵胞期と黄体期にわかれ、ホルモンがちがうのである。ミーコがヒトを好きになれることと性周期に明らかな二相性があるのに、私は、非常にビックリした。この年の春まで数回の性周期に、ミーコは同じ現象を繰返した。

次の冬に向けてミーコの行動に期待していた私に、彼女は何の反応もしない代わりにウマの係員のH氏を恋のお相手として選んだ。よく聞くと前々年はウマの係のK氏を対象にしていたという。幼い時からヒトに育てられたミーコは、近くにいるヒトの男性を恋の相手に選んでいたのである。ミーコの気持ちをあわれに思ったが、ミーコ自身がヒトの仲間という意識があったためかもしれない。

しかし、野生のニホンザルでも若いメスは、恋の対象にヒト(男性)を選ぶこともあると高崎山のニホンザルの研究家、京大の伊谷先生がいていた。また、幸島のサルを調べていた吉場さんもメスザルに惚れられたという。サルにとってはヒトは意外に近い仲間なのである。

# 目次

表紙 カナダカワウソ……………	1
どうぶつと私 <sup>⑬</sup> 「ニホンザルと私」……………	2
グラビア アビシニアコロブス……………	3
特集 識別のお話……………	4
飼育レポート カリフォルニアアシカの離乳……………	6
動物公園の動物 <sup>⑬</sup> 動物公園の植物 <sup>③</sup> ……………	7
動物公園日誌から……………	8
飼育よもやま話……………	10
健康管理センターから 平成5年度後期行事予定表……………	11

## 表紙の動物説明

### カナダカワウソ

北アメリカ大陸のほぼ全域にわたって生息。カワウソの仲間では大型で、全長150cmにもなるものもいます。半水生の生活に適していて前後足とも水かきがあり、魚、カニ、カエルなどを好んで食べます。

撮影 宮川千尋

## 動物飼育数

哺乳類	72種	474点
鳥類	92種	409点
爬虫類	5種	23点
両生類	1種	2点
魚類	2種	17点
総計	172種	925点

(平成5年8月31日現在)

## アビシニアコロブス

Abyssinian Colobus

霊長目 オナガザル科



撮影 宮川 千尋

白いケープを掛けたような美しいサルで、アフリカのエチオピアからカメルーンにかけて分布しております。しかし、その美しさがあだとなって乱獲され、その数を減らしました。その後厳重に保護されましたので増えつつありますが、いまだに一部では敷物として観光客に売られているのが残念です。当園ではケニア産とウガンダ産の二亜種12頭をサル比較舎に展示しており、毎年可愛い子供が生まれております。

(宗近 功 Isao Munechika)

たとえば、皆さんが動物公園のサル山を見た時、どう思われるでしょうか。「たくさんいるなあ」と思われるだけかもしれませんが、サル山のすべてのサルには名前と番号とするしがついていて、見る人が見ると、誰が誰だか判るようになっていっているのです。つまり、識別ができるようになっていっているのです。「識別」という言葉を辞書で引いてみると、『相似点、共通点のある2つ以上のものについて、その種類・性質を見分けること』となっています。かんたんに言うと動物一頭一頭を見分けることです。

人間の場合、学校や会社でしたら名札・IDカード、各種証明には、免許証・印鑑登録証明証、などが有ります。そして、これらには普通、番号がついています。学校でいうと出席番号ですし、免許証にも番号がついています。出席番号や競技会に参加したときのゼッケンなどは一時的な番号ですし、免許証やクレジットカードの番号などはその本人に一生続く番号です。

このように、人間に名前、名札、番号などの識別方法があるのと同様に、動物公園の動物にも名前（すべての動物に付いているわけではありません）と個体番号（これは、すべての動物に）があります。個体番号については、園内で使っている番号のほかに、希少動物・保護動物に関しては、国際血統登録番号や国内血統登録番号の付いている動物もいます。

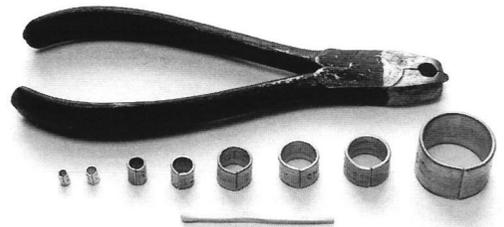
では、動物に名前や個体番号をどうして付けなければならぬのでしょうか。それは、動物の個体識別をすることによって、その個体の健康管理や飼育記録を正確に把握することができ、また、その個体の血統が明確になることによって、動物の縁組みをした時に遺伝的に好ましくない事態を未然にふせぐことができるからです。

ここでは、動物に関する色々な識別方法について何回かに分けてお話をしていきたいと思えます。図1に分野別の識別方法をまとめてみました。（大まかですので、これがすべてではありませんし、現在ほとんど使用しないものもあります。）この中には、永久的個体識別法（指趾切断、耳パンチ、いれずみ）のように一生のこるもの、短期識別法（染色など）のように時間が経つと分からなくなるもの、変更可能（首輪、ミミタグ、翼帯など）なものなどがあります。

これらと合わせて、すぐ見て識別できる方法を併用することがあります。たとえば鳥の場合一羽づつケージに入っていれば別ですが、広い空間で飼育している場合、足環を双眼鏡で見ても個体番号を読むことは不可能ですし、毎回番号を調べるために捕獲するわけにもいきません。そこで、もう片方の足に色のついた足

分野	方法	代表的な例	
実験動物—人為的	指趾切断	マウス、ラット	
	耳パンチ 染色	淡色の被毛の動物	
野生生物	人為的—足環、発信機	標識調査の鳥など	
	先天的—体の模様	シマウマの縞模様など	
	後天的—傷痕	怪我や闘争などの傷	
畜産動物	人為的—焼きこて 耳パンチ(切れ込み) 耳環 マイクロチップ	牛、馬 ブタ 牛 牛	
	先天的—鼻紋 体毛の色柄、模様(斑紋)	牛、馬 牛	
	動物園	人為的—焼きこて 足環 翼帯 いれずみ 耳パンチ(切れ込み) 耳環 マイクロチップ 染色 脱色 書く(ペンキなどで) 首輪	牛、馬 鳥 ペンギンなど ニホンザル ブタ、モルモット 牛、ヒツジ、ブタ 牛、希少動物(マーモセット等) 淡色の被毛の動物(ブタ、モルモット) 濃色の被毛の動物 カメなど ヤギ、ヒツジ
		先天的—夜目 甲羅の模様 鼻紋 体毛の色柄、模様(斑紋) 顔付き	馬 カメ 牛、馬 シマウマ、キリン、モルモット、牛馬、チンパンジー、ゴリラ
後天的—傷痕		怪我や闘争などの傷	

図1



鳥の足の大きさによって使う足環も違います。足環にはすべて連番が打ってあります。上のペンチは足環を付ける時のものです。



右足に足環、左足にカラーリングをつけています。

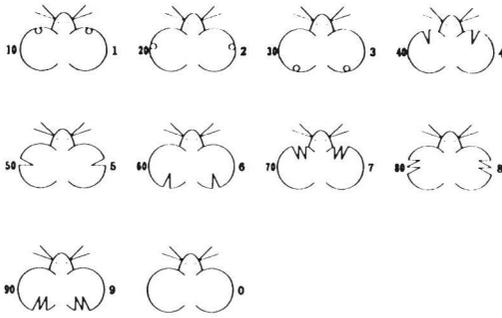


図 2

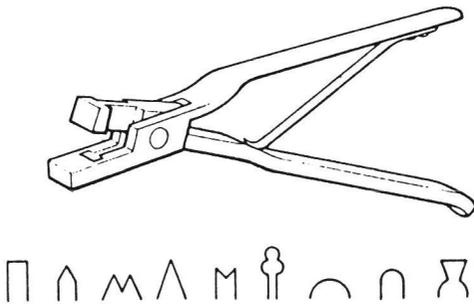
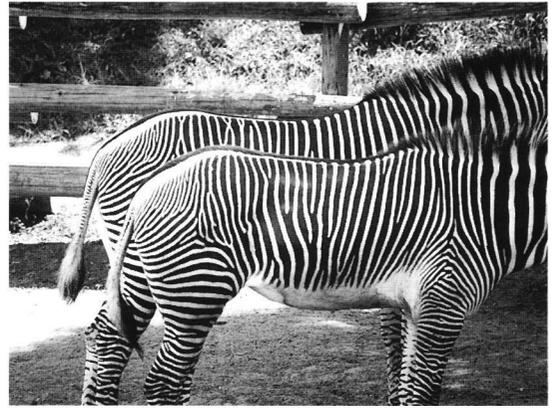


図 3

環を付け、その色で識別します。個体数の多い時は、複数の色を使います。この様に日常の管理には、簡略な方法を用いることがあります。

マウス・ラットなどの実験動物では、確実な識別と見やすく解ることが要求されますので、見栄えは、悪くとも指趾切断、耳パンチ、いれずみ等で行ないますが、短期間（1ヵ月位）の実験では、染色による方法をとることもあります。耳パンチによる方法は、図2のようなやり方でかなりの数まで把握することができますし、パンチの種類も図3のように何種類もの形があります。いれずみは、滅菌した黒色色素を少量皮内注射した場所によって識別します。染色による方法は、色素を背部や、手足の毛に塗っておこないます。使われる色は、黄色が多いようです。これらは、大量に実験動物を使用する場合であって、数匹の実験の場合は一匹づつマウスを入れたケージに番号を付けておけばよいわけです。では何故、このように実験動物の体を傷つけてまでの確実な識別が要求されるのでしょうか。それは、実験動物によって得られたデータが我々人間の安全な生活に活かされるからなのです。

実験動物とは逆に、野生生物には基本的に人為的なことはできません。バードウォッチングや、最近流行のホエールウォッチングでも見るだけです。しかし、野生生物でも識別は可能です。シマウマの縞模様、キリンの体の模様、クジラの尾ビレの腹側の模様（これ



シマウマの背中中の模様



キリンの尾のまわりの模様

それぞれの違いがわかりますか？  
共に動物公園の動物です

は写真に撮らないと分らない) など、動物固有の模様がその方法ですし、野生のゴリラ、チンパンジーの研究者は、(個体の)顔を見れば分かるそうです。といっても、顔、体の形、大きさ、毛色、しぐさ、声などを総合的に判断してのことだそうですが。最初に基本的と書いたのは、野生生物の移動・行動を調査する場合に、足環・首環・発信機を動物につけることがあるからです。足環・首環は、渡り鳥や野鳥の移動を調べる鳥類標識調査によく使われますが、小型鳥類の足環はもともと小さいうえに、鳥の方から見つけてくださいと、やってくるわけではないので、捕獲されないと分からない欠点があります。これに対してハクチョウ・ガン・ツルなどの中・大型鳥類につけられる足環・首環は大きいので、高倍率の望遠鏡を使うと文字・番号を読み取ることができます。最近では小型の発信機を鳥につけて、衛星を使って追跡する試みがなされているそうです。

今回は実験動物と野生生物についての識別に触れてきました。次回は、畜産動物や動物園で使用されている識別方法に話を進めていきたいと思います。

## カリフォルニアアシカの離乳

Weaning of Californian Sea Lion

1992年5月20日、千葉市動物公園では初めてカリフォルニアアシカの仔が生まれ、その後、仔は順調に成育し、324日令の時点で親との隔離を実施したのでその概要を報告します。

アシカの仔ははやいものでもう10ヶ月令となりました。アシカの授乳期間は飼育下の状態で6ヶ月～1年といわれ、当園での場合も9ヶ月を過ぎてはまだ親に乳をもらい、餌である中アジやサバには見向きもしません。餌が大きすぎるのではと小アジに変えてみても時々鼻先で遊ぶくらいで飲み込んでくれません。このままではもし新しい仔が生まれてきた場合、乳のとり合いがおこり、次の仔は十分に乳が飲めなくなってしまうでしょう。このため完全に自分で餌を食べるように教えなければならないのです。

親を離すというのは少しかわいそうな気もしますが、仔に餌付けさせようとして小アジを多めに与えてもほかの個体が食べてしまいますし、仔のほうも訳のわからないものより飲みなれた親の乳のほうが良いでしょう。それに広いアシカ池では生き餌を投げ入れてもそれに気付いてくれそうにありません。

1993年4月8日、親との隔離をすることにしました。隔離場所はアシカ舎の隣りにあるペンギン池裏の予備プールです。

栄養価の高い乳を十分に飲んでいるといっても移動のストレスや生活場所の急変など、餌を食べてくれない要素は十分すぎるほどそろっています。うまくいかなかった場合には人工哺乳を考えなくてはなりません。

親と離れた当日、2日目は親仔で鳴き合っていました。生き餌のドジョウを与えてみると私たちの心配をよそに驚くほどすんなりと餌を食べてしまいました。これより後の様子は日誌を抜粋して見ます。

4月8日—隔離初日。324日令。体重32.3kg。

4月9日—2日目。325日令。活きたコイを与えると追い回し、かみ殺すだけで食べようとしない。

4月10日—3日目。昨日同様。

4月11日—4日目。活きたドジョウを目の前で飲み込む。

4月12日—5日目。小さめのサバ(70g程度)、小アジ(25g程度)食べる。

4月13日—6日目。給餌時間と回数を親と同じにする。

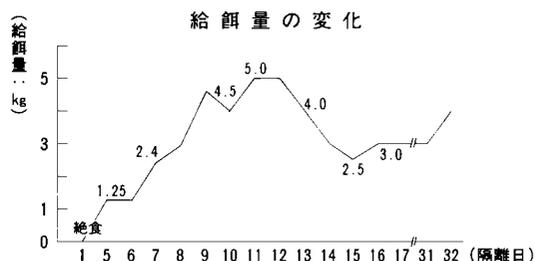
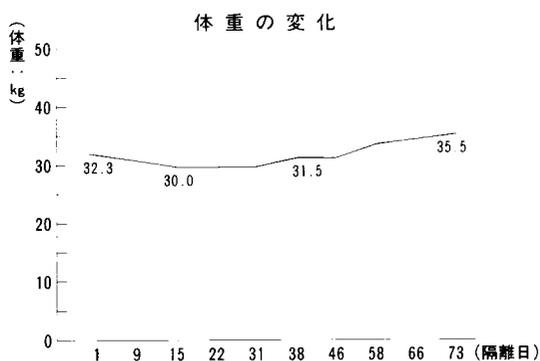
4月14日—7日目。食べ方が上手になる。糞を確認する。

4月20日—13日目。餌の吐き戻しがある。

4月21日—14日目。粘液便がでる。

4月24日—17日目。軟便がでる。

6月4日—58日目。はじめて体重の増加がみられる。



この隔離、離乳の成功として考えられることは、雌親の健康状態が極めて良かった、ということでしょう。初めての育児だったにもかかわらず、実に堂々とした母親ぶりで乳の出も良好でした。このため10ヶ月令をこえるまで仔育てをまかせることができ、仔の体が十分に成長して離乳可能となったため、容易に魚に餌付けてくれたのだと思います。他に隔離に必要なプールの確保、コイ・ドジョウといった生き餌の入手がたやすかったことなどが挙げられます。

今回、アシカの繁殖、育児、離乳といった行動に立ち合うことができ、大変に有意義な時間を過ごすことができました。これからも、ドン・キキ・チコ・ミューたちにはがんばって子どもをふやしていてもらいたいと思います。(樽川 修 Osamu Tarukawa)

## 動物公園の動物…⑬

Animals in the Chiba Zoological Park

### ～セスジクスクス～

Ground Cuscus

動物公園の暗い夜行性動物舎の一角に「クスクス」という奇妙な名前をもった、太ったキツネザルとも大きなネズミともいえる愛嬌のある動物がいます。この動物の正式な名前は、背中にある黒いすじ状の模様からセスジクスクスと呼ばれていて、ニューギニアに生息している有袋類の仲間です。「クスクス」の名は原地語の「臭い」という言葉からきていてその名のとおり体から独特の臭いをだしています。

セスジクスクスは、ネコ位の大ききで体重3～5kg位、灰色の毛でおおわれ、のどや腹部などの体の内側は白っぽい毛になっていて、背中には黒い線があります。クスクスの仲間の体の特徴は樹上生活に適した足と尾に見られます。足はサルのように自由に物がつかめ木のぼりに適しています。また後足の人指し指と中指が外皮でくっついていて物をつかみやすいようになっています。尾は、自由にごきまわり、木などにかみやすい様に毛がなくなっています。

セスジクスクスの野生下での習性などは、夜行性の樹上生活者のためにあまりよくわかっていませんが、主に群などをつくらずに単独で生活をしていて、植物性の木の葉や実、果実などが主食ですが、まれに小動



物や昆虫なども捕えて食べます。また彼らは、コアラのように腹部にある袋で仔を育てます。

動物公園では1985年にパプアニューギニア政府より2頭のセスジクスクスが贈られ飼育しています。ここでの餌は果物、野菜が中心で他にパンやブタ用の餌なども与えます。今までに6頭もの仔が生れています。仔は一度に1頭で、袋の中で毛も生えそろう手足もしっかりして大きくなってから袋から顔を出します。かなり大きくなって袋に入り、母親が重そうに袋をひきずりながら歩く姿はとてもユーモラスです。今も母親の袋の中に仔がいるようで、この動物公園ニュースがでる頃は、仔どもが袋から顔をだしているかもしれません。みなさん恐がらずに夜行性動物舎にきてください。(濱田 昌平 Masahira Hamada)

## 動物公園の植物…③

The plants in the Zoological park

### ～ケヤキ～

Zelkova Tree

今年、市の木として、新たに千葉市のシンボルとなったケヤキは、千葉市郊外にある農家の周りや街路樹などによく見られ、市民から親しみのある樹木として選ばれたものです。ケヤキはニレ科の落葉高木で、関東から東北地方にかけて広く植栽されています。

また、宮城県、福島県、埼玉県などでは、県木として一般に親しまれています。以前、関東地方では、武蔵野を代表する樹木として、コナラ・クヌギなどと共に、ケヤキは武蔵野の風物詩の一つでもありました。

近頃では、その風景もめっきり少なくなりましたが、まだ、市内では少し見受けられます。

ケヤキは昔、用材を橋桁や船材に使用したり、江戸前の海苔の粗朶に用いたりしたため、関東地方には多くあります。また、屋敷周りの寒風を防ぎ、夏の暑さを和らぐなど、緑陰として貴重なことから民家近くに多くあるのもそのためです。

ケヤキの名前の由来については、古くは「けやけき



木」と言われ、際立って目立つ樹、又は、尊い木の意味からきているそうです。

園内の中央に位置する、メインモールの両側にある並木がケヤキです。動物公園の開園前(昭和60年に一次開園)、昭和58年度に植栽工事で植えたもので、当時は3m程の中木で、メインモールには貧弱なものでした。それが現在では、大きな緑のトンネルを形作り、園を訪れる人々のオアシスになりました。この樹の選定については、樹形がホウキ状にのび、新緑の美しさや、生育も良く、夏は緑の葉を茂らせ木陰をつくり、秋には、葉が黄色の紅葉を彩り、冬は葉が落ち樹下に陽光を入れるなど、様々な面で優れていることから、ケヤキを植栽したものです。

(本多 啓一 Keiichi Honda)

# 動物公園日誌から

## From Zoological Park Diary

’93年 2月1日～’93年 7月31日

2月3日 ゾウ舎改修工事のため第一室の壁をこわす  
2月4日 千葉大附属養護学校生31名に子ども動物園で団体指導を行う  
2月7日 タマワラビーの仔、育児袋から落ちて死亡  
" 「ゆかいな森の音楽会」開催  
2月8日 シバヤギ、角を折ったためギブスをつける  
2月11日 ホオカザリヅル1羽、シカの放飼場にて  
" オランウータンのジャックとジュンに交尾行動がみられた  
2月12日 レッサーパンダ、発情終了  
2月15日 オーストラリア放飼場に植樹を行う  
2月18日 アビシニアコロブス、初めて親から離れて餌を食べる  
2月20日 ゾウ放飼場改修工事のため、終日屋内に係留  
2月21日 ゴリラ、交尾様行動がみられる  
" ゾウ雄、新設の通路を通らず。雌は初め警戒したが、その後出入する  
2月22日 ホオカザリヅル雄、アジア舎パドックに移す  
2月24日 レッサーパンダ、仲よくジャレていた。発情か？  
2月25日 アクシスジカ 雄1頭繁殖  
2月28日 「ワンポイントウォッチング」開催（エリマキキツネザル）  
3月2日 フンボルトペンギン舎に巣材を入れる  
3月3日 フンボルトペンギン、3番が巣作りを始める  
3月4日 ホオカザリヅル、産卵  
3月7日 「春のズー・クイズラリー」開催  
3月9日 ゾウ舎増築部の塗装を行う  
3月11日 オランウータン雄（ジャック）と雌（ジュン）交尾  
3月12日 オランウータンのジャックとジュン、今日も交尾  
3月13日 ピグミーマーモセット、1頭繁殖  
3月14日 フンボルトペンギン舎に巣材を追加搬入  
3月15日 アカカンガルー（タマエ）脱臼  
3月16日 キジ舎天井に防鳥網を設置  
3月17日 ルーセットコウモリ、難産で死亡  
3月21日 オオカンガルー、1頭繁殖  
3月22日 セーブルアンテロープ雌、腹部大きくなり乳房が張る  
3月25日 ゾウ舎改修工事の仮検査  
3月26日 マーモセット類8頭、浜松市動物園に寄贈

3月28日 ヤツガシラ、頻繁に巣箱に餌をはこぶ  
" 「ワンポイントウォッチング」開催（ヨーロッパバイソン）  
4月3日 セーブルアンテロープ 死産  
4月4日 ミニブタ、死産  
4月8日 カリフォルニアアシカの仔、離乳のため隔離  
4月9日 シロガオマーモセット、2頭繁殖  
4月10日 ヤツガシラ、孵化  
4月11日 ゾウ、間接飼育になる  
4月12日 ショウジョウトキ、下嘴を骨折  
" ラッパチョウ、抱卵をはじめ  
4月15日 ミニブタ、6頭繁殖  
4月16日 アクシスジカの角切り実施  
4月19日 オオカンガルー、雄1頭搬出  
4月21日 オランウータン（ジュンとジャック）明日搬出のため麻酔してケージに収容  
4月22日 オランウータン（ジュンとジャック）、安佐動物公園に出す  
4月23日 ヤク、雄1頭搬出  
4月24日 子供動物園で飼育のチャボ、カラスに殺される  
4月25日 「ワンポイントウォッチング」開催（レッサーパンダ）  
4月28日 アミメキリン、1頭繁殖  
4月29日 ミケリス、1頭死亡



5月1日 **ニホンザル、今年最初の繁殖**  
5月7日 ショウガラゴの仔、巣外にでる  
5月9日 ゴリラ雌、発情か？ キーパーに甘える  
" 「愛鳥週間特別講演会」開催  
5月11日 ヒオドシジュケイ、3羽繁殖  
5月14日 カムリバト、抱卵中止  
" ケープペンギン（左青）換羽終了  
5月16日 「羊の毛刈りと紡毛教室」開催  
5月17日 ムフロン雌（ハイジ）死亡  
5月18日 ゾウ雌、新設の鬼棒にはさまれる  
5月20日 ビーバー雄の伸びすぎた歯を切る  
5月22日 **タンチョウ、産卵する**  
5月23日 ハイイロガン、5羽孵化  
" ゴリラ雌、今年初めてプールで水浴



抱卵中のタンチョウ

- 5月23日 「ワンポイントウォッチング」開催  
(ゾウ)
- 5月24日 キングペンギン、換羽をはじめ
- 5月25日 11種21点の動物を搬出
- 5月26日 ゲルディモンキー、1頭繁殖  
ムネアカタマリン、2頭繁殖
- 5月27日 カリフォルニアアシカ、繁殖するが仔はすぐ死亡
- 5月29日 園内に仔犬が侵入、後、捕獲する
- 5月30日 マガン、巣箱内で産卵
- 5月31日 ベニイロフラミンゴ10羽、多摩動物公園より寄贈される
- 6月1日 ヤツガシラ、孵化
- 6月2日 ラッパチョウ、産卵
- 6月3日 マガン、産卵
- 6月6日 「動物を計る会」開催
- 6月9日 キングペンギン、換羽終了
- 6月10日 オウギアイサ、9羽孵化



動物公園特別講演会

- 6月12日 「動物公園特別講演会」開催、講師、動物写真家 平岩道夫・雅代氏
- 6月16日 オシドリ、7羽孵化
- 6月18日 エミュー、アメリカビーバーの搬出と搬入を行う
- 6月19日 ヤツガシラのヒナ、巣立つ
- 6月21日 ツメバガン4羽、フェニックス動物園に寄贈
- 6月24日 ゾウ、マウント行動がみられる
- 6月26日 カリフォルニアアシカの仔、京都市動物園

- にブリーディングローンで搬出
- 6月27日 開園以来飼育のシチメンチョウ、死亡する  
" 「ワンポイントウォッチング」開催  
(ヤケイ)
- 6月28日 グレブシーマウマの仔(モモコ)交換で富山市ファミリーパークへ搬出
- 6月29日 富山市ファミリーパークより、グレブシーマウマの仔、交換で搬入
- 7月1日 シマウマ類、モウコノウマ、ムフロン全頭に腰麻痺予防薬を投与  
" 動物愛護標語募集 ~31日
- 7月3日 カンムリバト、抱卵中止
- 7月4日 オランウータンのキャンディーとナナ、麻酔して検査
- 7月9日 マガモ、野生イタチにおそわれ死亡
- 7月10日 「アニマルスクール」開催
- 7月13日 カメ池のクサガメ、産卵
- 7月15日 ミドリヒロハシ5羽、新着
- 7月16日 ケープペンギン(右青)換羽終了
- 7月18日 ワタボウシバンシェ、2頭繁殖  
" 「ワンポイントウォッチング」開催  
(スイギュウ)
- 7月23日 ミドリヒロハシ、3羽新着
- 7月26日 ミニブタの仔、4頭搬出



7月27日 サマースクール始まる~29日、上下の写真は、草原ゾーンアフリカ班のものです



- 7月28日 リスザル、1頭繁殖
- 7月30日 小学校生活科講座実施
- 7月31日 子供牧場、トナカイ放飼場にヨシズを張る

# 飼育よもやま話

Animal Episode

## 近況報告

Recent Report

私がサル比較舎の担当になって5ヶ月になります。マンドリル、マントヒヒ、クロザル、シシオザル、ブタオザル、この5種類のサル達が、私の担当動物です。朝、比較舎の扉を開けるとメスのマンドリルがいきなりウォウォと叫びながら寝室の扉におしりを付けてきます。これはプレゼンティングといい上位者に対するあいさつです。その次にメスをおしのけて、オスがものすごいきおいで扉にぶつかってきて、四つんばいになってちょうど力士がすもうをとる様な型で、ウォウォ鳴きながら頭を上げ下げします。担当になったばかりのころはあいさつをしているものと思っていましたが、放飼場に出ている、遠くに私の姿をみつけると金網ごしに四つんばいになり、頭を上下させて叫んでいます。また獣医さんや前の担当者と見ていると特にすごく鳴きます。前任の担当者に聞いてみると、何度か予防注射などで取り押えているので、四つんばいになる行動は威嚇しているのだと教わり、なんだかびっくりした思い出でした。マンドリル同様に変わった行動をとるのがシシオザルです。朝、寝室の前に行くと扉ごしに座わりこんで顔から顔の側面にそって右手を付けてまるで軍人の敬礼の様なかっこうをします。この敬礼は飼育担当者だけでなく放飼場でお客さんに向



ってもいいその後金網の間から手を出してお客さんにお菓子をおねだりして、まんまとお菓子を手に入れています。今のところオス1頭で暮らしているためか、両隣のクロザルとブタオザルに威嚇をしに行きますが、見ているとひとりできみしいためにメスと一緒にいるクロザルとブタオザルをうらやましそうに見ているとしか思えません。また一頭でひまなため止まり木のボルトをはずして止まり木を壊したり芝をおさえてあるパネルをはがしたり、放飼場の砂をほじくりかえしたりしています。こんないたづらをしないようにはやくお嫁さんを見つけてあげたいものです。

(鈴木 克典 Katsunori Suzuki)

## 動物の説明会を始めました

We started explanation of animals.

動物の説明会を始めたのは、家畜の原種ゾーンのムフロン放飼場前です。

土日祭のお客さんの多い日を中心に、夏休みなどは毎日とまでいきませんが、子供たちも多いので平日もやっています。時間は2時30分からと3時30からの2回です。夏休みの2時30分といえば、太陽が照りつけ



て暑いですが、学生さんでしょうか、なにやら学校での宿題をやりに来たようで、私がバケツの中に動物の餌を少し入れてもっていき、「それなんですか」と聞いてくれますので、「これがムフロンの餌です」と言って見せてあげます。中に入っているのは、青草、乾草、ペレットですが、このペレットに関心をひかれるようです。大人に説明するときにはいろいろな材料を混ぜ合わせ、その動物にあわせて熱で固めて作った物、子供たちには、動物のお菓子なんだよと言って説明しています。

さて次に動物の方を見て説明しようと思いますが、ムフロンたちがいません。これにはこまりました。太陽が照っていて岩の陰に入ってしまう見えないのです。オスの角が少し見えて、「角のついているのがオスです」。

「4月23日に子供が生まれました」のキャンペーンを出しているため、お客さんから「子供はどこですか」と聞かれます。子供は岩の陰にはいますが、座っていて、その上ムフロンたちの体の色と岩場の色が同じようなので、日陰などにいるときは見のがすことが多いのでしょうか。ムフロンは群でいるので一頭が見えれば、だいたい見つけられると思います。

ムフロンは、家畜ヒツジのもとになった野生ヒツジで、春ごろには、冬毛がぬけ夏毛になるので、冬毛が浮き上がって換毛します。この時、ぬけた毛なども、お客さんに見てさわってもらったりしています。

(伊場 真彦 Masahiko Iba)

# 健康管理センターから

From the Animal Health Center

## キミたち、おとこのこ？おんなのこ？

Are you mate or female?

male

動物の雄・雌ってわかりますか？「そんなの簡単、オチンチンがあるかないかですぐわかるよ。」って思いますか？それはその通りなのですが、種類によってはコトはそう簡単ではないのです。

さて、先日動物園に新しいビーバーがやって来ました。ビーバーも見ただけでは雄か雌かわかりません。しかし動物園では、雌はもういるので雄が欲しいと思っています。このビーバーが雄なのか雌なのかははっきりさせなければいけません。どうしたらいいのでしょうか？以前に雌雄判別をした人の話では、その部分をめくってみると、雄はちゃんとペニスが出てくるのだそうです。とは言っても、ビーバーはそのままではあまり協力的ではありませんから、網で捕え、麻酔薬を注射して眠らせてから、いよいよ取りかかります。尿道と肛門のある所ですから、めくると尿も糞も出てきます。けれどいくら糞尿にまみれても肝心のペニスは出て来ないのでした。やはり雌なのでしょうか？

雌では仕方がないので、動物商の人に別のビーバーを2頭持って来てもらいました。この2頭もすぐに眠らせて必死でめくってみましたが、出て来るのはやはり糞と尿ばかりです。3頭とも雌なのでしょうか？困ったその時、雄ならペニスポーンがあるはず……という意見が出ました。そこで眠らせたまま、今度はレン



証拠のレントゲン写真です。中央の白い影がペニスポーンです。

トゲンを撮ってみました。すると横向きの写真に小さなマッチ棒くらいの骨が写っています。仰向けでも撮ってみたのですが、これは背骨と重なってしまうためか、よくわかりませんでした。そこで、最初のビーバーももう一度眠らせて、横向きにして撮ってみると、やはりこのビーバーにも小さな骨が写っていたのです。!!それで、結局最初の1頭を残すことにしてあとの2頭にはお引取り願いました。こうして大騒ぎしてやっと雄だとわかった次第です。知らなくて恥をかいたけれども勉強にはなりました。

(辻村 直美 Naomi Tsujimura)

## 平成5年度後期行事予定表

行 事 名	期 日	内 容
自然と遊ぶ教室	10月17日	草木や木の実で遊びながら、自然と親しむ楽しい教室です。
秋のZOOクイズラリー	11月3日	園内の動物にちなんだクイズを行ないます。
動物公園写真コンクール作品展	11月1日～11月30日	入選作品の展示を行ないます。記念講演会及び表彰式(11月14日)
動物公園のクリスマス	12月12日	クリスマスにちなんで、ツリーのかざりつけやカードを作ります。
新春特別展示	1月5日～	千支にちなんだ動物をパネルで紹介します。
バードウォッチング	1月16日	園内の野鳥の観察を行ないます。
バードウォッチング	2月12日	園内の野鳥の観察を行ないます。
ゆかいな森の音楽会	2月20日	動物にちなんだ音楽を演奏します。
春のZOOクイズラリー	3月27日	園内の動物にちなんだクイズを行ないます。
動物公園ワンポイントウォッチング	毎月第4日曜日に実施	動物公園の最新の話題と動物のワンポイントガイドを行ないます。

17号に次の誤りがありました。ここでお詫びと訂正をさせていただきます。

- |                 |                           |   |            |
|-----------------|---------------------------|---|------------|
| 4 P 右の行、上から6行目  | ビグミーチンパンジー                | ☒ | ビグミーチンパンジー |
| 7 P 右の行、下から11行目 | 国内東側                      | ☒ | 園内東側       |
| 9 P 左の行、一番上     | (ササでフクロウを                 | ☒ | (ススキでフクロウを |
| 9 P 左下の写真       | 12月24日 ムギワラトキ、1羽孵化の写真でした。 |   |            |



カンムリバト